

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	NAGANO アート・プロジェクト実践事業
事業主体 (連絡先)	NAGANO アート・プロジェクト実行委員会
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	452,499 円 (うち支援金: 322,000 円)

事業内容

- 『街なか美術館』 期間 4/29~5/5
 - 4/29 「路上子供アート：花の善光寺」
御開帳歩行者天国にて、花をテーマに 2.7m×3.6m のホワイトシートに近隣保育園の子供たちが花々と善光寺を描きあげました。参加人数 48 名
 - 5/2 「ゆめの花の未来のまち」をテーマに子供たちが立体オブジェを創ります。歩行者天国にて子供たちが花や家、ビルなど制作し、「空から見た街」が完成しました。約 120 名の子供たちが参加。
- 「Magari (間借り) 美術館」 4/04~5/24
地域の空き店舗を間借りして、子供たちや住民の作品を展示したり、ワークショップを開催。



【目標・ねらい】

- ①観光客向けの休憩エリア
- ②地域住民との交流や魅力の発信
- ③長野の街 (アートタウン) を強調
- ④商店会と住民の協働で新しい賑いを

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①②歩行者天国という非日常空間でのアートを経験することで、子供たちの感性を高めたい。結果、パフォーマーやアーティストによって子供たちの創造力が高められました。路上空間での描いたり制作するパフォーマンスの楽しさが、観光で訪れた親子連れに注目されて多くの子供たちが参加しました。
- 2、間借り美術館を住民と商店組合で運営し、相互の協力体制を作ることと地域のアーティストを紹介する場を設けたい。
結果、商店会の人と住民 (特に婦人部) の皆さんとが協力し合って名前等も覚え、7月の祇園祭や8月の「かるかや縁日」に向けて、一致団結を約束いたしました。また東山魁夷と同スペースに子供や地域の方の絵が飾られ、こう評価を受けました。

※自己評価 【 A 】

【理由】

商店会と住民の協働以外にも保育園や小学校ともコラボ出来、大きな絆が生まれました。観光客の方々には、芸術推進の長野を知ってもらえました。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

商店会と地域住民が協働で行う事業の楽しさや地域の子供たちの未来を左右する事業だと認識して頂きました。アート活動と共にスポーツ観戦なども取り入れた育成事業として関わって行きます。今後、祇園祭、「かるかや縁日」「善光寺よさこい」を協働。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある